

南校通信

愛媛県立宇和島南中等教育学校
R5. 12. 20発行

| 日 | 曜日 | 1月の行事予定 | 給食 |
|----|----|---|----------|
| 1 | 月 | 元日 | |
| 2 | 火 | | |
| 3 | 水 | | |
| 4 | 木 | | |
| 5 | 金 | | |
| 6 | 土 | パック模試(6年希望者) | |
| 7 | 日 | パック模試(6年希望者) | |
| 8 | 月 | 成人の日 | |
| 9 | 火 | 3学期始業式 身だしなみ指導 実力テスト(1, 2, 4, 5年) 学校評価アンケート(~16日) 学校生活をよりよくするアンケート(~16日) 【校納金引落日】 | × 要弁当 |
| 10 | 水 | 午前中45分短縮授業 各種委員会 運転免許保護者説明会2 学年末考査発表(6年該当者) | ○ |
| 11 | 木 | 共通テスト事前指導/租税教室(6年 7限 図書室/会議室) | ○ |
| 12 | 金 | 人権を確かめあう日 | ○ |
| 13 | 土 | 大学入学共通テスト(6年) 進研模試(4・5年) | |
| 14 | 日 | 大学入学共通テスト(6年) 進研模試(5年) | |
| 15 | 月 | 自己採点(6年) | ○ |
| 16 | 火 | 学力到達テスト(3年) | ○ |
| 17 | 水 | 学年末考査(6年該当者) 総合学習発表会(1年 5・6限) 学力到達テスト(3年) | ○ |
| 18 | 木 | | ○ |
| 19 | 金 | | ○ |
| 20 | 土 | 駿台模試(4・5年希望者) 愛媛県高等学校新人大会バレーボール競技南予地区予選女子会場 | |
| 21 | 日 | 実用英語技能検定第3回筆記試験 愛媛県高等学校新人大会バレーボール競技南予地区予選女子会場 | |
| 22 | 月 | | ○ |
| 23 | 火 | | ○ |
| 24 | 水 | 学力推移調査(1・2年) 全校集会 | ○ |
| 25 | 木 | | ○ |
| 26 | 金 | 6年学年会 少年の日の集い(2年 5・6限)(授業公開) | ○ |
| 27 | 土 | 土曜セミナー(6年) 県学力テスト(4・5年) | |
| 28 | 日 | | |
| 29 | 月 | | ○ |
| 30 | 火 | | ○ |
| 31 | 水 | | ○ |
| 備考 | | | |

※ ○は給食あり ×は給食なし

相談室より

相談員 山下博司

みなさん、こんにちは。相談室の山下です。SLAの高城先生と一緒に皆さんの学校生活のお手伝いをさせていただいています。

令和5年度も2学期が終わり、残すところ3か月となります。新年を迎えると新しい目標を立てて、そして気持ちも新たに頑張ろうと心に誓うのですが、皆さんはどうでしょうか？

目標を立てることはとても大切です。大きくても小さくてもかまいません。人に言えば笑われるかもしれないと思える目標でもOKです。とにかく「立てる」ことが大切なのです。なぜならそれで今よりも一歩前進するのですから。

新年の目標はその年の末までに達成しなければいけない、ということはありません。時間がかかっても、そこに向けて努力を積み重ねていくことが大切なのです。

大きくステップアップすることもあるでしょうし、現状維持？と思われることも、時には失敗して残念な思いをすることもありますが、どんな結果でも自分が一歩前進したから得られたものなのです。それが「経験する」ということです。

大切なことは「経験から学ぶ」ことです。その学びが多ければ多いほど心は大きく成長していきます。身の回りの小さなことにも「経験する」チャンスはあるのです。

その経験をだれかに話してみましょ。自分の中に留めるのではなくてだれかと共有しましょう。自分が気付いたこと+その人が気付いたこと=新たな自分に気付く、ことにつながります。それが「経験から学ぶ」ことを深めてくれますよ。

私が目標に取り組んでいくときに心掛けていることは、①ワクワクする未来をイメージすること、②ホップ、ステップで止まらない、何か一つジャンプできることに挑戦してみることに、③失敗しても次に生かすこと、などです。具体的ではありませんが、参考になればと思います。(笑)

相談室では皆さんの経験を聴かせてもらっています。自分にも他人にも見えない部分、まだ開発されていない心の部分をひらいていくのがカウンセリングの仕事です。そのためには、自分でもそして他人からも見えている部分を広げることが大切です。自分をよりよく知り、他人からも理解されるように努めることが可能性をひらくことにつながります。自分のすばらしい個性に気づき、大きく広げていきましょう。



イラスト (保健室 梶本真央 先生)